

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【公開番号】特開2017-217120(P2017-217120A)

【公開日】平成29年12月14日(2017.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-048

【出願番号】特願2016-112275(P2016-112275)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 W

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月24日(2019.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼を検査する眼科装置であって、

被検眼を検査するための検眼手段と、

左右の少なくとも一方の被検眼を含む顔画像を撮影するための顔撮影手段と、

駆動手段を有し、前記被検眼と前記検眼手段との相対的な位置関係を調整する調整手段と、

前記調整手段の駆動を制御する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、被検眼の3次元座標のうち少なくとも1つの座標成分を仮定し、仮定した前記座標成分と、顔画像から検出した被検眼の2次元座標と、に基づいて、前記被検眼の仮の3次元座標を算出し、前記仮の3次元座標に基づいて、前記駆動手段を制御することを特徴とする眼科装置。

【請求項2】

前記制御手段は、被検者の顔が顔支持手段に支持された状態において、前記被検眼のz座標を仮定することを特徴とする請求項1の眼科装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記仮の3次元座標に基づいて、前記被検眼の位置が所定範囲内であるか否かを判定することを特徴とする請求項1または2の眼科装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記仮の3次元座標が所定範囲外である場合、前記駆動手段を駆動させることを特徴とする請求項3の眼科装置。

【請求項5】

被検眼を検査する眼科装置において実行される眼科装置制御プログラムであって、前記眼科装置のプロセッサによって実行されることで、

左右の少なくとも一方の被検眼を含む顔画像を撮影する顔撮影ステップと、

前記被検眼の3次元座標のうち少なくとも1つの座標成分を仮定し、仮定した前記座標成分と、前記顔画像から検出した被検眼の2次元座標と、に基づいて、前記被検眼の仮の3次元座標を算出する算出ステップと、

前記仮の3次元座標に基づいて、前記被検眼を検査するための検眼手段と前記被検眼との相対的な位置関係を調整する調整ステップと、

を前記眼科装置に実行させることを特徴とする眼科装置制御プログラム。